

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 吉田 孝太郎
所属 (School) 工学研究科 電気・情報系専攻
学年 (Grade) 修士 2 年

留学先 (Name of overseas institution)
マラヤ大学, マレーシア
留学期間 (study abroad period)
3 週間 (8/6-8/27)

記入日 (Date) 8/30/2017

留学レポート Study Abroad Report

◆はじめに

留学へ行こうか迷っている人は是非行くべきです。私自身も、学部時代に留学へ行こうか迷っていましたが、お金や時間を理由に渋っていました。ですが、時間をこれだけ自由に使えるのは大学が最後だし、お金も社会人になったら貯まるという話を聞くので、今渋る必要ないと思います。私も行かなかったら後悔していたと思います。短期の留学でしたが、私にとっては得るものは多かったです。そして、楽しかった！これが一番じゃないですかね。

今回のレポートでは、Summer Enrichment Programme ; SEP を選んだ理由とこのプログラムの内容について書こうと思います。

◆留学を考えた理由

まず、SEP を選んだ理由の前に、そもそもなぜ留学しようと思ったのか。私は将来的には海外で活躍する研究者になりたいと考えています。その為、企業で働く際にも積極的に海外へチャレンジしたいという意欲を持っています。その第一歩として、海外の文化や人に少しでも触れたいと考え、その手段として留学がありました。また、英語力が乏しいことは自覚していたので、どれほど自分の英語が通じるのか、あとどれほど頑張ればよいか知る機会にもなればよいなとも考えていました。学部時代から留学は考えていたのですが、バイトやサークルを理由にしている内に大学院生になってしまい、このままでは後悔したくなかったのも理由の一つです。

◆SEP を選んだ理由

私は大学院生なので参考にならない人も多いかもしれませんが、主な理由としては「時間・お金が丁度良かった」からです。学部生であれば、特に忙しくなければ長期休みは留学に時間を費やせますが、大学院生は研究や学会参加等により比較的休みを取りにくいです。私自身も9月は学会で2週間程漬れる為、8月実施のSEPが非常に都合良かったということが挙げられます。また、東南アジアは欧米や豪州と比較してリーズナブルであり、海外留学チャレンジ制度や後援会からの支援を受けられる為、特に金銭的に圧迫されることもありませんでした。

学部生・大学院生共に迷っているなら、行動した方がいいと思います。近年は大学側も留学へ力を入れており、金銭的に支援してくれたり、留学に興味ある人を集めて支援したりと環境は整っていると思います。国際交流課へ話を聞きに行くだけでも構わないと思います。国際交流課は何年も留学プログラムを実施しているプロですから、必ず有意義な話を聞けると思います。何か行動しないと、何も始まりません。私が学部時代に過ごしたもったいない時間を過ごして欲しくありません。行動して、話を聞いてから考えても遅くないと思います。語学研修だけでなく、研究での留学やワーキングホリデーでの留学などいろいろあるみたいなので。是非、楽しい留学ライフを送ってください！

◆SEP の内容

SEP は各大学から University of Malaya; UM に集まった学生がマレーシアの文化や歴史を学びつつ、各自の英語力を伸ばすためのプログラムです。今回は日本から東北大学、福井大学、鳥取大学、大阪府立大学、関西学院大学、近畿大学、韓国から世宗大学が参加しました。基本的に 1.2.3 回生の文系学生が多い印象でしたが、理系や医系学生も数人見られました。府大よりも早く現地に到着している大学もいれば、1 週間後に合流した大学、4 か月間マレーシアに滞在する大学もあり、流動的でした。

具体的なプログラムの内容としては、以下の表に示す通りです。通常の平日であれば①の様に朝食後、教室に移動して授業を受けます。授業は Writing, Reading, Speaking, Grammar の 4 種類あり、主にグループワークを進めてゆく参加型授業の為、眠たくなることはありません。授業後は昼食をとり、Traditional dance や Drama (参加任意) の練習に励みます。Traditional dance は閉会式の時に、Drama は近くの小学校へ出向いて発表を行いました。Traditional dance を踊れる・学べる機会はそのめったにないですし、英語での Drama 発表も経験できる機会は少ないと思うので、貴重な経験が出来たと思います。4:30 からはおやつタイムが毎日あります。日本のういろうに似たお菓子やドーナツ等いろいろな料理を食べることが出来ました。味は正直、当たり外れがありました。なんでこんなに甘そうな見た目なのに塩辛いの？みたいな。笑 これも海外らしくてよかったです。放課後は、パティと一緒に近くの大型ショッピングセンターに行って買い物したり、様々な料理 (マレーシア、タイ、中華、日本) を食べて過ごします。食べるのが好きなので、非常に楽しかったです。しかし、日本料理以外は全てスパイシーであり、本当に食べれない料理もありました。8 割方美味しくいただけただので、私は満足しています。個人的には KRA-POW CHICKEN RICE (ピリ辛チキンライス) とロティチャナイ (ナンのような食べ物) とクウィティーゴレン (マレーシアの焼きそば) がお気に入りでした。

①のような授業だけでなく、②の様に昼からイベントがある日も結構多く、退屈しない毎日でした。近くの川で川遊びしたり、マレーシアのコース料理をチームで作って競ったり、ディベート大会 (参加任意) を行ったり。留学へ行かなければなかなか経験できないようなことに挑戦できたことは非常に有意義だったと感じます。また、このようなイベントは基本的にチームで行われるので、今まで喋ったことのないような人と交流できる良い機会でもあるので、是非参加するべきです。ただ、Debate のテーマが前日の夜発表であり、またそのテーマも非常に難しい (死刑制度に賛成か反対か、徴兵制度に賛成か反対か等) ため、準備時間を確保することが難しかったです。この準備には PC を持参してよかったなと感じました。

また、休日は③のように、マレーシアの文化や歴史を Kuala Lumpur や Putrajaya, Melaka への観光を通じて学びました。1.2 日でマレーシアの主要観光名所全部回ったんじゃないかというぐらいハードスケジュールでしたが、その分充実していました。正直、もう少し自由時間がほしかったです。イスラム教のモスクやヒンドゥー教の寺院などを回り、多宗教であるマレーシアを肌で感じました。宗教によって全然違うし、それが面白かったです。ホームステイもさせて頂きましたが、本当に田舎。笑 そちらへんにバナナやココナツの木が生っているし、シャワーは無いし。少し慣れるまで時間はかかりましたけど、田んぼに入ってナマズ捕り、凧を作って凧揚げ、ナイトウォーク、バナナの葉を用いた楽器作りなど楽しかったです。

経験したことが多すぎてこのレポートに書ききれませんが、長期・短期に限らず留学という経験は一生の思い出になると思います。是非、挑戦してみてください。サポートしてくださった国際交流課、UM の皆に感謝いたします。写真載せるスペース無くて、載せることができなくてすみません。

表 SEP スケジュール

①	8:00-9:00	9:00-1:30	1:30-2:30	2:30-4:30	4:30-5:00	放課後
平日	朝食	授業-休憩-授業	昼食	ダンス・楽器練習 劇の練習	おやつ	買い物や夕食
②	8:00-9:00	9:00-1:30	1:30-2:30	2:30-5:00	放課後	
平日	朝食	授業-休憩-授業	昼食	Water recreation Drama performance Sightseeing of national place Kitchen competition Debate		買い物や夕食
③	一日中					放課後
土日	Kuala Lumpur や Putrajaya の観光 (日帰り) Melaka の観光 (日帰り) ホームステイ (1 泊宿泊)					買い物や夕食